

女性部 「橋原研修旅行」 2014. 3. 30~4. 1

自然エネルギーの町橋原で エネルギーもらった



発行 7860-0013 長崎市中川2丁目2番5号
 長崎高教組会館
 長崎高等学校教職員組合
 ☎ (095)-827-5882
 編集責任者 小田 誠
 購読料 一部10円
 組合員は組合費に含む
 メールアドレス naga-kks@fsinet.or.jp

研修日程
 3月30日(日) 高知市に前泊
 3月31日(月) 午前：高知市からレンタカーで橋原町へ移動
 午後：橋原町内の各施設の見学
 役場内の空調エコシステム見学(資料説明(45分))
 → 小水力発電視察
 → マルシェユスハラ(町の駅)見学
 → 地熱利用温水プール見学
 → 雲の上ホテル温泉見学・宿泊
 4月 1日(火) ホテル → 橋原町民俗資料館見学
 → レンタカーで高知市へ移動後解散

橋原町は、高知県の西部にある町で高岡郡に属する。人口 約3,800人(2014. 4. 1)
 “風がささやき、森がおどり、神々が舞い降りる。そこは雲の上の楽園、橋原”



常に新しい児童生徒たちと接する教職員にとって、研修を行い、見聞を広め、学習を深め、問題を深く探求することは喜びであり、成長を実感できる瞬間です。そして、研修で得られた体験、新しい知識が児童生徒に還元され、児童生徒の成長を確信できたときは、喜びは倍増します。しかし、昨今の教育現場の世知辛さは、教職員の自主的、自発的な、そして自由な研修をなかなか実現させてはくれません。長期休業中でさえもそうです。2週間の春休み、今は、年度末の整理と年度始めの準備で研修どころか、リフレッシュのための休みもままならない状況です。でも、女性部がやっちゃってくれました。ブラボ！



いざ橋原へ レンタカーの前で記念撮影

「橋原への道」 諫早商業分会 馬場 敦子
 二年越しの夢は叶った。旅の顛末は他の方々がたづねたり語ってくれると思うので、私はそこまでの道のりのことを話そうと思う。
 思えば2012年度の女性部学習会からこの旅は始まったのだった。あの日講師の西岡由香さんが最後に、自然エネルギーをフル活用する四国の山奥の小さな町の話をした時、見まわすと皆瞳がやけにキラキラしている。事実「見に行きたい人は？」と問うてみるとかなりの先生方が手をあげた。ところがだ、勇んで問い合わせしてみると、町役場が主催しているの、土日は受け入れ不可なのである(ま、ね。公務員だから)。あつけない計画は頓挫した。それが復活したのは2013年秋の「ランチde女子会」である。諫早名物のうなぎをばくつきながら、またもや一行きた



役場の施設のエコシステム

「視察研修を終えて」 佐世保工業分会 百田 直代
 環境モデル都市として認定されている高知県高岡郡橋原町での視察研修は、まずまずの観察研究であり、しかも桜前線真っ只中。橋原町の方々の温かいおもてなしを受けつつ、女性部の参加者5名(妙齡)との交流も深めることができ、とても心に残る研修の旅となりました。
 橋原町は、“四国のチベット”といわれるような山間の里です。かつて江戸末期に維新の風を巻き起こした坂本竜馬が脱藩した道、また竜馬を取り巻く人々が住んでいたところでもあります。林業を主たる産業とするこの地に時代の波、自然災害は容赦なく、数々の課題を抱えながらも、大自然の恩恵を大切にしながら、人々が根を張って生きていこうという姿勢を見ることができたことは、今回の研修の大きな収穫でした。
 四万十川源流、橋原町の“風をおこし、町をおこす”事業の取り組みが、これからのように発展していくのか、おそらく今でも課題山積だとは思いますが、故郷を愛した先人たちの志を受け継いで、自立した町づくりを目指していつてほしいと思いました。
 そして、蛇足ながら、本組合活動においても、共通する思いを抱いた次第です。
 「小さな町の大きな取り組み」 諫早商業分会 小川 篤子
 今回の研修では、たくさんの初体験をさせてもらった。土佐でのレンタカードライブ、鯉炙りのパフォーマンス(鯉の塩たたき)最近の美味ナンバー1でした)、聞いたこともない「橋原」という町での宿泊・・・。何より、町の電力をすべて自然エネルギーで賄おうという、壮大にして深淵な計画、その心意気やよし！
 橋原町の町政(環境分野)は、人間の暮らしと

は、われわれが動ける平日はどこだ、と、真剣な模索がはじまった。そして、3月と4月の年度替わりの隙を縫うような大胆な設定がよったのか、5名という理想的な人数で視察は実現したのである。本当に楽しく充実した「大人の修学旅行」となった。おやつ制限もなしだし。
 残念ながら参加できなかった方々のためには、夏の学習会でスライドショーを計画している。美味しさ、楽しさの欠片をおすそ分けできれば幸いです。

「橋原視察を終えて」 佐世保工業高校分会 藤原 きさ子
 「橋原視察を終えて」 佐世保工業高校分会 藤原 きさ子
 高知県でレンタカーを借りた熟女5人、いざ雲の上の町橋原へと向かいました。車外ののどかな風景に癒されながらのぼ



自然を優先する小水力発電

特に私が惹かれたのは、「小水力発電」だ。町を流れる橋原川を利用して小水力発電は、大規模なダムを作らなくてもできるの、長崎県のおよとした河川に活用できるのではないかと思つた。人が一歩譲って、自然を優先できる所は優先する。そんな気持ちで美しい故里を守っていきたく

ほとんど参加した私は、橋原の方々の歓迎ぶりにびっぴり。視察というのを忘れていたことに気がきました。風・太陽・水・地熱・森林など自然エネルギーで町おこしをしている橋原は、その1つ1つが人に優しく、橋原の自然と共存し調和していました。自分達の周りには資源を活用し、未来においても安心安全な生活を送り続けることができること、そのことはこれからの日本が考えていかなければならない問題や進むべき道をこの橋原が示唆してくれているように感じました。日本の未来を切り拓くという希望を抱き、橋原を駆け抜けに行つた坂本龍馬や吉村虎太郎の生きざまが、今の橋原の姿にどこか共通するものがあるように思えました。『昔も今もこれからは、維新の道は橋原から』優しさの中に、そういう力強さを感じました。バタバタとした日常を忘れ、美味しい郷土料理とゆつたりと流れる時間に心癒された2泊3日の旅行でした。最後に、この視察旅行を企画して下さいました先



女龍馬三人 今、新しい日本を造るべく 脱藩の道に進まん

14国民春闘勝利4・10中央行動

大幅賃上げ、労働法制改悪反対 安倍「教育再生」ストップ!



厚生労働省前要求行動

2014年度 本部執行委員・業務分担

今年1年間この体制で担当します。専従役員はひとりですが、職場の要求を実現し、児童生徒の教育権を守るために精一杯活動します。よろしくお祈りします。

○本部執行委員

- 執行委員長 小田 誠 (鳴滝高通信)
- 副執行委員長 鍛冶 保則 (諫早農業高)
- 書記長 馬場 隆 (専従)
- 書記次長 寺田 杉 (小浜高)
- 執行委員 今泉 宏 (鳴滝高夜間)



◆小田執行委員長



◆馬場書記長

※イラストは坂本康英 老岐支部長(老岐商)

○業務分担

- | | |
|---------------------------|-------------|
| ・庶務 | 馬場 |
| ・会計 | 今泉 |
| 収入 | (書記局) |
| 支出・カンパ | (書記局) |
| 救援業務 | (書記局) |
| 共済 | (書記局) |
| 会館管理 | 馬場 |
| ・情宣 | |
| 定期新聞 | 小田 |
| 速報 | 馬場 |
| 高教組HP担当 | 今泉 |
| ・組織(拡大・強化) | 小田 |
| ・専門部等 | |
| 青年部 | 今泉(寺田) |
| 事務・現業職員部 | 馬場 |
| 実習教員部 | 鍛冶 |
| 女性部 | 小田 |
| 定通部 | 今泉 |
| 障害児教育部 | 小田 |
| 司書部専門委員会 | 寺田 |
| 養護教諭専門委員会 | 馬場 |
| 海事職 | 馬場 |
| 臨教対策 | 今泉 |
| 選挙管理委員会 | 馬場 |
| ・生活・権利
(賃金・社会保障・法制を含む) | 馬場 |
| ・教育文化 | 寺田(小田) |
| ・教育財政(全般)
教育全国署名 | 馬場・鍛冶
鍛冶 |
| ・人事 | 馬場 |
| ・全教共済・全教自動車 | 鍛冶(今泉) |

※「WE LOVE 憲法」発行…小田
※全教中四九プロ高校協議会事務局…馬場
(注) 共闘関係などは省いています。



宇都宮健児弁護士のあいさつ

宇都宮健児さんは、東京知事選での選挙公約である「若い人が希望を持つて働ける東京作り」や「プラック企業根絶」などへの東京都民の共感を紹介してはならず、「戦争は最大の人の権利侵害である」と結びました。

日比谷公園霞門から旧永田小学校裏までの約1時間の国会請願デモでは、「労働者派遣法の改悪反対」「最低賃金大幅引き上げ・全国一律導入」「公務員賃金改善」などを掲げ、私たちの要求を国会に届けようという強い意思をアピールしました。また安倍政権の戦争を出来る国作りのための解釈改憲の動きについて「立憲主義の否定」であるとして決して許してはならず、「戦争は最大の人の権利侵害である」と結びました。

開催された「意思統一集会」では、小池晃参議院議員から安倍政権の政策の問題点が指摘され、安倍政権の暴走を共にとどめようという意思の統一がなされました。長崎高教組の上部団体である全教の中村副委員長が、「教育委員会制度改悪反対」「安倍「教育再生」ストップ」「原発再稼働反対」

安倍政権の危険性を強く感じ、教職員組合として長崎で何が出来ることがあるかを考えていると痛感した中央行動でした。

(長崎高教組から参加した小田委員長の報告)



北村全教委長を先頭のデモ隊

など「憲法を守り、いかす」運動を展開する」と決意を述べ、共感の拍手の嵐を受けました。

参議院議員に対して、国会議員要請行動を行いました。岩手県選出、生活の党の主演さんと長野県選出、民主党の羽田雄一郎さんの事務所を訪問し、「教育委員会制度を改悪する地方教育行政法の『改正』に反対する要請」を行いました。二つの事務所共に秘書の対応でしたが、短時間の部屋の外での対応など、国民の代表者として国民の意見に耳を傾けるといふ誠実さのかけらも感じることが出来ませんでした。

よろしくお祈りいたします

今年度の特別専門委員に次の5人の方に委嘱することが、4月19日の第1回代表者会で承認されました。

- 平井秀治さんー憲法共同センター事務局長
- 大場雅信さんー県労連幹事
- 田島章さんー県北地区の分会活動支援
- 宅島修さんー障害児学校の分会活動支援
- 大野廣巳さんー「長崎の高校教育」編集を中心とする教文活動

特別専門委員は、執行役員だけでは十分に活動を保障することができにくくなっている現状に対処するために、昨年度から正式に制度化されました。高教組運動を熟知した高教組の元役員を中心に、各分野で長崎高教組の運動の発展をお手伝いしてもらっています。交通費等実費のみの支給で心苦しい思いではありますが、5人の方の高教組運動に対する情熱にすぎり、委員としての活動をお願いしています。各支部、分会、専門部等で積極的な活用をお願いします。

ご協力をお願いいたします

民医連で看護師・介護士・薬剤師を募集しています

県労連加盟の民医労は、長崎県民主医療機関連合会(長崎民医連)の労働組合ですが、職員不足で多忙化が進行しているため、組合としても職員募集促進のとりくみをすすめています。その一環として、職員募集のチラシを広く県下に配付したいと高教組に協力要請がありました。各分会にチラシを数部送付していますので、卒業生や知人で、看護師・介護士・薬剤師の仕事を探している人がいれば、チラシをおたしてくださいます。